

# SCOUTING

特集

2020  
No.737  
5

## 2020年度事業計画 第47回全国ボーイスカウト写真コンテスト



写真: 第47回全国ボーイスカウト写真コンテストより

CONTENTS

- 02 2020年度事業計画
- 08 制服に半ズボンとキュロットを追加
- 09 ONLINE SCOUT SHOP  
2020.4.1 GRAND OPEN
- 10 野外活動のための安心・安全講座【特別編】  
新型コロナウイルス (COVID-19)
- 11 Scouting Never Stops.
- 12 第13回日本アグーナリー
- 13 2020年度全国大会
- 13 富士スカウト代表表敬
- 14 野外活動のための安心・安全講座  
2018 (平成30) 年度  
そなえよつねに共済 事故データ分析
- 16 スカウティングとSDGs  
— 一緒に考えよう! 持続可能な社会のために —
- 18 第47回全国ボーイスカウト写真コンテスト  
入賞作品発表!!
- 20 ローカルホットライン
- 21 信仰奨励
- 21 ボーイスカウトPRムービーコンテスト2020
- 22 セーフ・フロム・ハーム
- 22 維持会員
- 23 令和元年台風第19号への支援状況報告



# 2020年度 事業計画

日本連盟創立100周年まであと2年。

新型コロナウイルスにより、活動自粛要請の中で迎えた2020年度ですが、5つの重点施策を中心として、さまざまな事業に取り組み、スカウト運動の歩みを止めることなく、「活動的で自立したスカウト」の育成を目指しましょう。

## 2020年度事業計画について

新型コロナウイルスの蔓延によって「緊急事態宣言」が出されるなど、これまで経験したことのない事態の中で、新年度がスタートしました。5月に神奈川で計画していた全国大会は中止、夏の第13回日本アグーナリーも延期としました。

地域でも、集合して行う隊集会やキャンプは自粛せざるを得なくなり、日ごろのスカウティングは困難に直面しています。

しかし、こういう時だからこそできるスカウティングがあるのではないのでしょうか。国難を創意工夫で乗り越え、困窮する人々を助けるのがスカウトです。むしろ今こそ、私たちの運動の真価が問われることとなります。

昔と違い、インターネット等の技術の進歩によって、実際に集まらなくてもさまざまなことができるようになってきました。そうした技術をどう使うか。スカウトならではのチャレンジ精神に期待します。指導者の皆さんにも、こういう時だからこそ、新し

い発想でひと味違った活動を展開していただきたいと思います。

2022年の日本連盟創立100周年まで、いよいよ2年となりました。ひとりでも多くの仲間を増やすため、近年、さまざまな施策に取り組んできました。一部ではありますが、少しずつ成果が見え、2019年度の新規入団スカウト数は、2018年度を上回ることができました。

しかし、新型コロナウイルスの蔓延により、今後、一段と困難な状況に陥ることが予想されます。2018年から最優先で取り組んでいる「財政再建および組織改革に関する基本計画」に盛り込んだ徹底した改革を、さらに加速する必要があります。事業の全面的な見直しなどにも邁進していく所存です。加盟員の皆さんには、こうした取り組みにご理解をいただき、日本のスカウト運動の再興にご協力をお願いいたします。

## ■ 事業スローガン

「活動的で自立した  
スカウトを育てよう!!」

～日本連盟創立100周年を目指して～



2020（令和2）年度も、日本連盟創立100周年を目指して長中期計画で打ち出した「活動的で自立したスカウトを育てよう!!」のスローガンのもと、各種事業に取り組みます。また、国連の定める国際目標「持続的な開発目標（SDGs）」

の達成に寄与できるよう、積極的に事業展開していきます。そして、日本のスカウト運動の活性化と加盟員拡大を最大の課題として、一般事業の取り組みに加え、重点施策と重点事業を展開し、特に次の成果を目標とします。



【2020年度 成果目標】

安定した組織によりスカウト運動の価値を高める。

## 1. 新規加盟スカウトの増加促進

- 1 各団において前年度中途退団者数を上回る新規加盟スカウトの獲得を目指す
- 2 新規加盟スカウト増加促進奨励策を実施する

## 2. 中途退団抑止対策

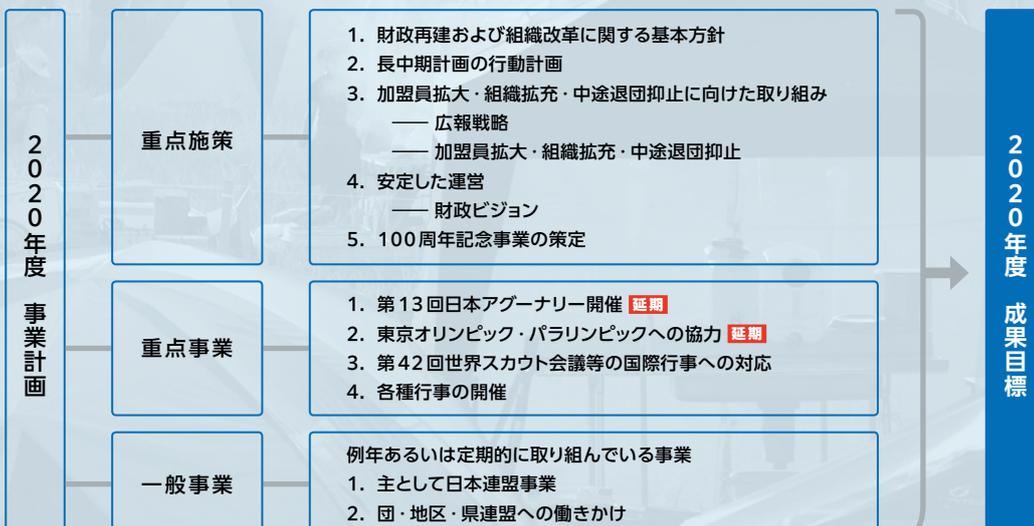
- 1 2022年を目指して隊・団運営の正常化が進められるように全団での登録審査を徹底する
- 2 全国各地で中途退団抑止につながるセミナー等を開催するとともに団への支援に着手する

## 3. 担い手を育成するための基礎づくり

- 1 ローバースカウト（RS）活動の充実と大学RS隊発隊を促進する
- 2 全国ローバースカウト会議（RCJ）への支援を拡大する
- 3 保護者への積極的な情報発信を行う（希望者にスカウティング誌デジタル版を配信する）

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、2020年4月7日、政府より「緊急事態宣言」が出されました。日本連盟では、スカウト運動に関わるすべての人の安全を優先するため、活動自粛を呼びかけるとともに、各事業の開催について延期および中止等の決定をいたしました。 ※開催に変更が生じた事業等についても、当初予定のまま掲載いたします。あらかじめご了承ください。

## ■ 事業計画体系



## インタビュー1

日本連盟の危機突破へ  
一気に改革を進める

佐野友保 日本連盟専務理事に聞く



——日本連盟の現在の経営状況を教えてください。

佐野 日本連盟の財政は2017(平成29)年ごろより、かなり厳しい経営状況でした。日本連盟創立100周年を目指して長中期計画で策定した「活動的で自立したスカウトを育てよう!!」という目標に継続して取り組むためにも、財政基盤を強化することが求められています。

なによりも加盟員の減少が収入を年々減少させています。そして、年間3億円に及ぶ管理費用すら賄えない状況になりつつあり、都道府県連盟ならびに加盟員の皆様のご理解を得て、昨2019年に7年ぶりに加盟登録料を改定させていただきました。

——登録料の値上げで問題は解決したのでしょうか。

佐野 おかげさまで、登録料の改定により2019年度は収入が1億6,000万円増え、特定資産に6,620万円繰り入れできるようになりました。2020年度も予算段階で引き続き8,450万円繰り入れする予定です。しかしその前提は、スカウト数の減少に歯止めがかかるかによります。

当面は、過去に取り崩した特定資産の回復に充てたいと思います。将来や今後の活動に備えるためにも、一時的な財政のゆとりだからといって支出を増やすつもりはありません。登録料の値上げを前提にした財政ではなく、事業や業務の在り方の改革、そして予算の効率化をスピーディーに実行していきたいと思っています。

——登録人数は下げ止まっていないのですか。

佐野 全体ではまだ減少が続いていますが、2019年度は「スカウト」の「新規」登録が前年度に比べて5%増え、明るい兆しが見えてきたと期待しています。ひとりでも多くの仲間を

増やそうという団や地区、県連盟の皆さんの努力の結果と感謝申し上げます。

スカウトを増やすには、活動の質を高めることがなにより重要で、そのための経費は惜しまないつもりです。

——財政を立て直すには、登録料以外の収入を増やす必要があります。

佐野 もちろん、日本連盟の収入は登録料だけではありません。本運動にご理解いただいている維持会員の皆さんの維持会費、スカウト用品販売からの収入、そして長中期計画の財政改革のひとつである保有資産の活用による収益の確保です。また企業からの連携支援も欠かせません。2018年度と2019年度の収入では、企業と連携した新チャレンジ章(コラボレーションバッジ)などが成果を上げています。

今後は登録料の在り方を見直し、より幅広い方々に日本のボーイスカウト運動を支えていただけるようにしたいと思います。

——そうはいつでも、支出を抑えることも重要ですね。

佐野 従来の事業の効率化を進めるとともに、

新規の事業は行わないなど、各委員長に依頼して事業全体の見直しました。ただし、指導者養成費用など、重要だと考える経費には予算を重点的に配分し、指導者やスカウトの皆さんの活動を支えるための予算については、基本的に前年度実績並みの予算を確保しました。

年間3億円かかっている事務局の維持管理費の圧縮にも取り組んでいます。2020年度は、予定した特定資産への繰り入れを満額実施したうえで、収支相償の予算としました。

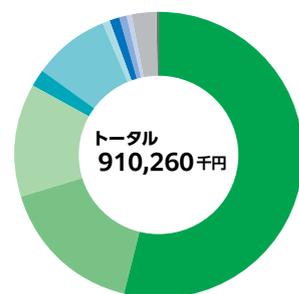
——管理経費の3分の2は職員の人件費です。これにはどう対応するのですか。

佐野 2020年度から抜本的な人事制度の見直しに着手します。定年は62歳ですが、60歳以上の昇給を停止し、事務局幹部の役職手当を引き下げること、2020年度の退職者を除いた職員の給与賞与総額を前年度並みに留める予算にしました。この改革は、日本連盟の財政を安定させ、事務局職員の雇用を安定的に守るためにも不可欠です。

一部の方からリストラせよという厳しい声も寄せられていますが、採用した以上、私たちに雇用責任があると考えています。職員

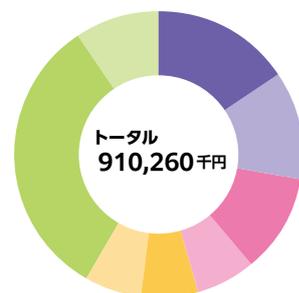
## [2020年度予算 収支概要]

## ■ 経常収益・収入



受取企業協賛金	10,000千円/1.099%
雑収益	8,080千円/0.888%
指定正味財産振替額	4,500千円/0.494%
引当金戻入	26,175千円/2.876%
財産運用益	23千円/0.003%

## ■ 経常費用・支出/特定資産繰入



公1 教育関係	141,947千円/15.6%
公1 共済関係	111,165千円/12.2%
公2 普及広報	102,503千円/11.3%
公3 指導者養成	59,412千円/6.5%
公4 国際関連	58,935千円/6.5%
収益事業	57,890千円/6.4%
本部共通経費	293,827千円/32.3%
特定資産繰入	84,581千円/9.3%

の皆さんにも、働き方も見直すことで効率を高め、残業を極力減らすことを願っています。

——しかし、職員は慢性的に残業状態が続いていると聞きます。

**佐野** 絶対に必要な事業は守るとして、加盟員の活動に直結しない事業などは止めるなど、大胆な見直しを行います。また、職員任せになりがちだった大会の準備などに、これまで以上にボランティア指導者の皆さんに関わっていただくことも必要です。

さらに、ジャンボリーの開催場所を固定化することでインフラ整備にかかる費用を圧縮したり、全国大会を各ブロック持ち回り開催にして十分な準備時間を設けたりすることなども検討していきたいと思います。これにより、職員の業務負担は大きく軽減されると考えています。——理事や委員など日本連盟役員の経費が大きいのでは、という声も聞きます。

**佐野** それは違います。むしろ理事は全員無給ですし、委員も含めた皆さんには時間と奉仕、維持会費納入もお願いしています。さらに寄付金や賛助金集めに貢献している理事も多

くいます。そうした状況は前年度分から「ガバナンス報告書」として公表することにしました。会議に集まるための交通費圧縮を目的にしたテレビ会議の積極的な活用や会議のペーパーレス化は、この数年で定着しました。

——スカウト用品を扱うボーイスカウトエンタープライズの改革を進めました。

**佐野** 在庫を抱えて資金難に陥っていたエンタープライズの立て直しは、一定のメドがつかれました。今後はスカウト活動の役に立つ、皆さんに購入していただける製品を開発し、販売します。用品の収益は、日本連盟のロイヤリティ収入になるだけでなく、最終的な利益もすべてスカウト運動に還元されます。

スカウトショップではインターネット販売も本格的に開始しましたので、大いに利用していただきたいと思います。また、必要な書籍についてはできるだけ廉価で頒布する仕組みを導入するほか、ホームページからの無償ダウンロードなどもできるように改革を進めます。——日本連盟の理事会および委員会は高齢化が著しいという声もあります。

**佐野** 10年間理事長を務めていただいた奥

島孝康先生が退任されることもあり、若返りを進めていきます。5月の全国大会時に就任する新任理事には40歳代、50歳代の若手を登用しました。委員会には女性や40歳未満の指導者も委員に加えるよう、各委員長に要請しています。すぐには難しいかもしれませんが、100周年までには相当若返ると思います。当たり前のことですが、理事や委員は名誉職ではありません。実際に仕事をさせていただけることを条件に委嘱しています。

——改革を終えて財政を安定させるメドは。  
**佐野** 2017年に「非常事態宣言」を出された奥島理事長は、2022年の100周年には反転攻勢をかけたいといっておられました。これからさらに少子化が進むなど環境は厳しさを増しますが、スカウト運動の魅力を広めることで、本運動が社会に役立つ青少年を少しでも多く育成することができるよう、スカウトおよび指導者を増やしていき、さらに、100周年には加盟員減少が底を打つことを目標にしたいと思います。財政を健全に保つには、仲間を増やすことが絶対必要なのです。

(聞き手：理事／前社会連携・広報委員長 磯山友幸)

## インタビュー2

# スカウトたちの自主性を重んじる「原点回帰」を

福嶋正己 日本連盟コミッショナーに聞く

——日本連盟コミッショナーとして、どんなスカウティングを目指していきますか。

**福嶋** 最近、全国の活動を見ていて思うのは、ボーイスカウト最大の特長であるはずの「青少年の、青少年による、青少年のためのスカウティング」になっていないのではないかと、いうことです。指導者が考えた活動をスカウトたちに与え導くのが大人の役割だと勘違いし、スカウトたちの自主性を重んじなくなっているのではないでしょうか。

大人の役割として安全を確保することは大切ですが、スカウトたちが「楽しい、有意義だ」と思う活動を自分たちで構築していくことが基本です。ボーイスカウトのパトロール・システム(班制教育)はそれを実践するための仕組みです。

2020年度の事業計画では、新規加盟スカウトの獲得、中途退団抑止、若手の後進育成を3つの成果目標としています。活動が楽しけ

れば、新しく仲間になる新規加盟者は増えますし、中途退団するスカウトも減ります。その魅力ある活動を作り、支える若い指導者を育てることが重要だと考えています。

——ボーイとベンチャーの一体化を始めましたが、ビーバーとカブも入隊や上進時期の見直しを進めようとしています。

**福嶋** ビーバーの入隊年齢を幼稚園の年長にまで引き下げようと考え、実証実験を続けてきました。これにより、入隊者が増えるなどの成果が確認されています。ただし、地域性や団の方針による柔軟な運営を認め、ビーバーは幼稚園年長から小学1年生までの1年から2年、カブは1年生から4年生までの3年半から4年の期間とし、ボーイへの上進を小学5年生からにしたいと考えています。

中途退団が多いのは、カブからボーイへの



上進時期だということが鮮明に調査結果に出ています。中学受験の1年前に上進するかどうかを聞かれて辞めてしまうというケースが多い。まずは上進し、受験するスカウトは休隊して、合格したらスカウティングに戻ってもらうという流れを作りたいと思います。2022年には実施したいのですが、異論も多くあるので、よく意見を聞きながら進めていきます。

——魅力あるスカウティングとはどういうものなのでしょうか。

福嶋 スカウティングの基本は野外活動です。5泊6日のキャンプを中心に据えるようお願いしています。指導者が休めないから無理だという声も聞きますが、スカウトが自分たちで企画立案したキャンプならば、ひとりの指導者が全日程いらなくても、交代で安全確保さえできれば良いのではないのでしょうか。全国にはローパーが中心になって指導するなど、12泊のキャンプを行っている隊も複数あります。

——奥島孝康理事長が、「もっと野外へ」と言い続けてきました。

福嶋 隊長が先生になって技術を教える、学校のような活動になっていないのでしょうか。もっと野外に出て行って、実践の中で、必要性に迫られてロープ結びを覚え、手旗信号を使う。登山用具は進化しているのに、ボーイスカウトが使うロープは50年前と同じ。人命救助にはあまり役に立ちません。もっと実践的なロープワークなどを体得できるようにすれば、スカウトたちも面白がって覚えるはずですよ。

——より魅力的な活動を提供するには、指導者のレベルアップが必要です。

福嶋 まずはコミッショナーです。昨年亡くなった緒方貞子さんは、国連難民高等弁務官（UN High Commissioner for Refugees）でしたが、なぜ紛争地域や難民キャンプの現場に足を運ぶのかを聞かれ、「実情を把握して支援するのがコミッショナーの役割です。だから私は現場に行くのです」と答えていました。コミッショナーという役務は、こうあるべきだと思います。

団の実情を把握し支援するのが県連盟コミッショナーや地区コミッショナーの役割です。年に2回、団を訪問してそれぞれの団の健康診断を行ってください、とお願いしています。団担当コミッショナーを置く余力がないという声も聞きますが、これは県コミ、地区コミの役務を分掌する役割なので、人的余裕のないところは県コミ、地区コミ自身が団訪問することになります。

また、指導者のスキルアップを進めるために、ラウンドテーブルを強化する必要があると考えています。米国のようにラウンドテーブル・コミッショナーを置くことも議論したいと思います。

——地方の場合、「大県連盟のような組織運営ができない」という声もあります。

福嶋 それぞれの地域で実情に合わせたスカウティングを展開してもらって構わないのです。しかし、それをできるのはコミッショナーです。私に相談のうえ柔軟に対応していただきたいと思っています。

——ボーイスカウト活動の柱の1つである班制教育（パトロール・システム）が機能しなくなっています。

福嶋 スカウト数の減少もあり、複数班が作れない隊が増えています。基準の人数に達しない場合、班制教育をどう運用していくのか、その場合のプログラムはどうあるべきなのかをプログラム委員会に考えてもらい、全国に発信します。

——進級制度や技能章などのバッジシステムも機能不全です。

福嶋 技能章のひとり平均取得数は1.2個、ペンチャーでも8割のスカウトが2級止まりという調査結果があります。高度な野外プログラムを展開する「富士特別野営」を開催し、富士スカウトを目指すスカウトを増やそうとしています。今年度は2021年3月に実施予定です。

また、大和の森 高萩スカウトフィールドに常設プログラムを開設し、6泊7日の長期野営を行いながらさまざまな技能章が取得できるような場を作りたいと考え、プログラム委員会や指導者養成委員会など関係委員会で構想を固めてもらっています。

——活動の質という意味で、セーフ・フロム・ハームの重要性が増えています。

福嶋 性的虐待に関する事件が3件ありました。当該指導者には除名などの処分を行う一方、スカウトを指導する際は複数の指導者が

あたるパディシステムを導入するよう通達を出しました。子どもをターゲットにする人物がスカウト組織に入り込まないよう、指導者の任命にあたっては、今後、より厳格にしていく必要があります。

また、スカウトの前で喫煙しない、酒についても活動中は一切飲まないというルールを厳格に適用します。教員の飲酒が大問題になるなど、教育活動中の禁酒は世界的な潮流でもあります。大会の場合、入場から退出まで飲酒は許されません。ルール違反は即退場です。飲みたければ、日と場所を改めて大人だけで慰労会を設ければ済む話です。

——SDGsをスカウティングの中でどう実践していくかも課題になっています。

福嶋 SDGsの取り組みについては、新しいことや特別なことをしなければいけないのではなく、これまで実践している社会奉仕や国際活動、地域や諸団体との連携といったスカウト活動が、SDGsで達成すべきどの項目に当てはまるのかということ、スカウトや指導者それぞれが考えてみるのが最初の第一歩になります。これらは、みんなで取り組んでいくべき課題として理解し、さらに活動を活性化できるように取り組んでいくことが大切です。

——指導者の若返りも重要です。

福嶋 佐野専務理事のお話にもあったとおり、女性や若い指導者に参画してもらいます。指導者養成委員会は「公募」するそうです。若い指導者に活躍していただく機会を提供したいと思います。

コミッショナーも着実に世代交代していきます。副コミッショナーの中からコミッショナーに就任するという流れを作ることで、継続性を重視したいというねらいがあります。2年後には次のコミッショナーの候補者を選びます。これは、国際機関などでしばしば使われている手法です。私はコミッショナーとして今後2年、日本のスカウティングのために全力投球します。

（聞き手：理事／前社会連携・広報委員長 磯山友幸）

## 重点施策

### 1. 財政再建および組織改革に関する基本方針

2017年度全国大会における奥島理事長の「非常事態宣言」を受け、スカウト運動の再興に全力を尽くすため、経営状況の透明化や組織の効率化を進めます。そのため、今後の財政再建や経営体制のあり方について、引き続き、次の7つの「基

本方針」に取り組みます。

- ① 登録料の値上げによって財政を立て直し、スカウト運動の質を向上させる
- ② 事業や業務の全面的な見直しを行い、予算の効率化を実現する
- ③ 収入の柱のひとつであるエンタープライズの経営を刷新し、安定的に収入を確保する

- ④ 保有金融資産の活用や企業寄付の獲得など新たな収入の道を確保する
- ⑤ 高萩スカウトフィールドの活用方法を具体的に示す
- ⑥ 理事会の執行体制の明確化など組織体制の見直しを行う
- ⑦ 日本連盟の経営情報の透明化を進め、関係者の声を聞く

## 2. 日本連盟創立100周年を目指した 長中期計画の行動計画への取り組み

2022年に迎える日本連盟創立100周年までに達成する長中期計画の取り組みは、5年目を迎えます。

- ① コミッショナーの充実
- ② 質の高い活動のための方策（セーフ・フロム・ハーム）
- ③ 指導者養成
- ④ 地域コミュニティづくり
- ⑤ プログラムの見直し
- ⑥ 登録制度の見直し
- ⑦ スカウティングにおける成人の役割
- ⑧ 情報伝達手段の刷新
- ⑨ 組織体制の検討
- ⑩ 国家資格認定制度へのチャレンジ
- ⑪ 公益事業の取り組み

## ⑫ 野外活動施設の確保

## 3. 加盟員拡大・組織拡充・ 中途退団抑止に向けた取り組み

加盟員拡大と組織拡充に取り組み、スカウト活動を活性化するために、日本連盟のみならず、県連盟、地区、団との連携により、次の4項目を重点的に取り組みます。

- 加盟員獲得に向けた広報戦略を展開し、スカウト活動のユニークさをアピール
- 団診断による団への支援と新団設立への取り組み
- スカウト初年度登録者数と前年度中途退団者数を比較し、増加人数分の奨励品を贈呈
- 中途退団抑止のための支援

## 4. 安定した運営

公益財団法人として安定した運営を進めるために、次の4項目を推進します。

- 企業、団体、行政との連携促進
- 維持会員増強
- 財政ビジョンの取り組み
- 世界や地域との連携

## 5. 100周年記念事業の策定

日本連盟創立100周年まで2年となる今年度は、記念事業のさまざまな計画の検討を進めます。

- 記念事業の策定と準備
- 第18回日本スカウトジャンボリー（2022年）の準備

## 重点事業

日本アグーナリーなど、残念ながら延期や中止にした事業もありますが、事業目的を達成できるよう、さまざまな展開方法を検討、調整していきます

### 1. 第13回日本アグーナリー

8月12日（水）から8月16日（日）まで福島・

国立磐梯青少年交流の家において、1,200人規

模で第13回日本アグーナリー（国際障がいスカウトキャンプ大会）を開催します。



### 2. 東京オリンピック・ パラリンピックへの協力

7月の選手村開村式に先駆けて、スカウトによる参加国の国旗掲揚を選手村で予定しています。また、多くの関係者が大会ボランティアとして奉仕します。

### 3. 第42回世界スカウト会議等の 国際行事への対応

8月24日（月）から28日（金）までエジプトで開催する第42回世界スカウト会議、9月に韓国・全州市で開催する第10

回 APR サミット（当初4月開催予定）へ日本代表団を派遣するほか、国際行事への対応を進めます。

※ 第42回世界スカウト会議は、新型コロナウイルス対策として開催延期に関するオンライン投票を4月下旬に行います（4月15日現在）。

### 4. 各種行事の開催

5月に全国大会（神奈川県）、9月にRCJフォーラム、11月に全国スカウトフォーラム、2021年1月に日韓スカウト交歓計画、同3月に富士特別野営等の行事を開催します。

## 一般事業

### ■ 主として日本連盟事業 ※一例

	所管組織			
	日	県	地	団
1 富士スカウトを顕彰する（代表表彰）	◎	○	○	○
2 JOTA/JOTI への参加を推進する	○	○	○	○
3 海外派遣事業を実施する	◎	○	○	○
4 全国大会を開催し、指導者の研鑽の場を展開する	◎	○	○	○
5 全国組織拡充担当委員会合を開催する	◎	○		
6 全国ボーイスカウト写真コンテスト、ムービーコンテストを実施する	◎			○

### ■ 団・地区・県連盟への働きかけ ※一例

	所管組織			
	日	県	地	団
1 スカウトの信仰を奨励する	◎	◎	◎	◎
2 「日日の善行」を班や隊活動のほか、日常生活の中でも促進する				◎
3 地域奉仕活動のほか、地域団体とも協力する		○	○	○
4 各種訓練機関（BS 講習会、WB 研修所および実修所など）を実施する	◎	◎	○	
5 隊や団で、スカウトや保護者に対して「活動に関するアンケート」を活用する	○	○	○	◎
6 団、地区、県連盟に「組織拡充担当」を置き、各組織で会員拡充を推進する	◎	○	○	

例年あるいは定期的に取り組んでいる事業を中心に、①主として日本連盟に関する事業②団、地区、県連盟に働きかける事業を展開します。日本連盟だけではなく、団、地区、県連盟と連携して取り組んでいきます。



※ 誌面の都合により、タイトルのみの掲載や一部を要約しています。事業計画の詳細および新型コロナウイルス関連の情報等は、日本連盟ホームページよりご確認ください。

# 制服に半ズボンとキュロットを追加

教育規程の改正により、2020年4月1日から半ズボンとキュロットを制服として着用できるようになりました。

改正：令和元年11月24日日本連盟コミッショナー 施行：令和2年4月1日



ハーフパンツ ※限定在庫商品

品番：30421～30428の8品目  
価格：¥2,970 サイズ：8種類



ブッシュ・ハーフパンツ

品番：30401～30408の8品目  
価格：¥2,970 サイズ：8種類



Wラップキュロット ※限定在庫商品

品番：30441～30445の5品目  
価格：¥3,190 サイズ：5種類

スカウトソックス  
※限定在庫商品

品番：26147  
価格：¥594  
サイズ：フリー



赤ボーダーソックス  
※限定在庫商品

品番：26453  
価格：¥671  
サイズ：フリー



オリーブソックス

品番：26476  
価格：¥825  
サイズ：フリー



オリーブ  
ロングソックス

品番：26478  
価格：¥880  
サイズ：フリー



※価格はすべて税込

## 日本連盟コミッショナーより 皆さまへのメッセージ(要約)

ボーイスカウトの制服は、創始者ベーデン-パウエルが南アフリカで警察隊を組織する際に採用した制服にヒントを得たもので、シャツにスカーフ、半ズボンに長いソックスを履き、ハットを被っていました。これらはスポーツ競技のユニフォームのような役割でした。

長いキャンプ生活の中で半ズボンが1枚あるだけで、ずいぶん快適に過ごせるようになるでしょう。「今日は暑いから半ズボンにしよう」とスカウト自身が決めることも自治の第一歩だと思います。「制服」として統一感を求める声などもあるでしょうが、それよりも制服を活動中に快適に着る習慣を身につけてくれることに価値があると考えます。記念式典などの際は、隊や団で「スマートネス」について考え、決めていただければよいと思います。

半ズボンには、スカウト用品で取り扱うサイドポケットのついたブッシュタイプのものですが、これまで販売していたポケットなしのタイプについても各隊(団)の判断により着用できることとします。ソックスについても同様です。

今回の規程改正により、制服が大いに活用されることを期待しています。

日本連盟コミッショナー 福嶋 正己

### 対象品目

ブッシュ・ハーフパンツ、ハーフパンツ、Wラップキュロット、ソックス各種

### ソックスについて

半ズボン、キュロットを着用の場合、ソックスも対象品目の着用が指定になります。

### 隊でそろえる必要は？

教育規程9-4スカウト・指導者の正装「② 同一の隊では、できるだけ同型の服装をすることが望ましい。」をご確認いただき、各隊等でご検討ください。また、コミッショナーのメッセージにもあるように、行事によっては、ドレスコードを指定する場合があります。

### 限定在庫・販売終了 商品に関して

新制服に移行した以降に販売していた同系色の靴下や、今回ご案内している各商品については、販売終了後も制服として着用いただけます。

### 教育規程、コミッショナー 発信に関して

[https://www.scout.or.jp/member/commissioner\\_uniform\\_shortpants/](https://www.scout.or.jp/member/commissioner_uniform_shortpants/)

購入等については、全国の販売協力店およびSCOUT SHOP TOKYO、そしてONLINE SCOUT SHOP等でご確認ください。

# ONLINE SCOUT SHOP

## 2020.4.1 GRAND OPEN



長年、多くの方よりご要望いただいていたオンラインショップが、いよいよ2020年4月1日に正式にオープンいたしました！

制服をはじめ、日ごろ皆さまがお使いになるさまざまな訓練用具や書籍など、普段の活動で必要な物を販売しております。クレジットカードはもちろん、着払いにも対応しているほか、皆さまにより便利な方法でご購入いただけるよう、さまざまな支払方法なども現在検討中です。

新型コロナウイルスなどの影響で外出することがなかなか難しい状況ですので、オンラインショップをぜひご利用ください。



### ぜひアカウントを！

アカウントを作成していただくと、領収書発行機能ができるほか、メルマガにもご登録いただけます。メルマガでは、最新情報やお得な情報も配信予定です。その他さまざまなことも企画中です。ぜひご登録ください。

### スマホでも、タブレットでも、PCでも！

ONLINE SCOUT SHOPは、スマホでものご購入が便利にように基本設計しておりますので、いつでもどこでもご購入いただけます。また、タブレットはもちろん、PCでも快適にお買い物いただけるようになっております。



### 記章・標章などのご購入について

記章・標章の販売開始は、正式オープンの1つの目玉です。ご購入には「団アカウント」が必要です。これは、規程やコミッショナー方針に基づき、不特定の方への販売を防止するほか、正しいプロセスでご購入いただくための方法です。「団アカウント」は各団1つ作成が可能で、団委員長や団の担当者の方などが登録可能です。ぜひ団内でご相談いただき、アカウントを作成してください。

団アカウントの作成方法は、SCOUT SHOP JAPANのオフィシャルページをご確認ください。

※ ご購入にあたっての申請などは、所属する都道府県連盟の手順、その他必要事項があれば必ず従ってください。



スカウトショップ



Online Scout Shop URL  
<https://www.scoutshop.jp/>



SCOUT SHOP JAPAN  
 Official Shop of the Scout Association of Japan

# 新型コロナウイルス (COVID-19)

感染拡大が騒がれ、世界保健機構 (WHO) が「パンデミック (世界的大流行)」と表明している新型コロナウイルスについて現時点 (2020年4月1日) で分かっていること、予防対策についてお話しします。野外活動だけでなく、日ごろのスカウト活動においても予防対策を強化するために役立てましょう。

## 1. ウイルスの特徴

ヒトに感染するコロナウイルスは、風邪のウイルス4種類と重症急性呼吸器症候群 (SARS)、中東呼吸器症候群 (MERS)、合わせて6種類があります。

今回の新型コロナウイルスは、これらとは異なる新しいウイルスです。主に呼吸器感染症を起こし、病原性は SARS や MARS より低いレベルと考えられています。

## 2. 症状

呼吸器系の感染が主体であり、上気道炎、気管支炎、肺炎を発症すると考えられます。しかしこのウイルスに感染した人全員が発症するわけではなく、無症状の人 (不顕性感染) が多く存在すると考えられます。症状は、発熱、咳、筋肉痛、倦怠感、呼吸困難などが比較的多くみられ、頭痛、喀痰、血痰、下痢、嗅覚・味覚障害などを伴う場合もあり、長く続く発熱と倦怠感が特徴ともいわれています。

少数ながら見られる重症例は、肺炎を発症していると考えられますが、死亡例では急性呼吸窮迫症候群 (ARDS) や敗血症、敗血性ショックなどの合併が考えられ、重症化しやすい人は、高齢者や基礎疾患 (心臓病、糖尿病、悪性腫瘍、慢性呼吸器疾患など) をもっている人たちであるといわれています。

## 3. 診断

症状のみで臨床的に診断を確定することはできませんので、まずは他の呼吸器感染症との鑑別が必要です。新型コロナウイルスに「感染した人との濃厚接触がある」あるいは「他に原因が特定できない肺炎である」人については、保健所と相談して PCR 検査<sup>\*1</sup>を実施することになります。

## 4. 治療

現在、ワクチンなど有効性が確認された治療法はありませんので、基本的には対症療法となります。肺炎を認める人などでは、必要に応じて点滴や酸素投与、人工呼吸器装着などの全身管理を病院で行います。

## 5. 予防対策

重要なのは、「呼吸器衛生」咳エチケット (他人に感染させないために、個人が咳やくしゃみをする際に、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖を使って口や鼻を押さえること) や手洗い (30秒以上、石鹸で流水を使用) などの実施を含む標準予防策です。

また風邪症状があれば、外出を控え、やむを得ず外出する場合にはマスクを着用することが大切です。

ウイルス検査を行わなければ感染しているかどうかははっきり区別する

ことはできませんので、すべてのスカウト、指導者が「手洗い」「マスク」など個人的防護を実践して、「自分がうつらない」そして「人にうつさない」ような日常生活を心がけるようにしましょう。

## 6. 日常の感染対策

「3つの密」といわれる「換気が悪く」、「人が密に集まって過ごすような空間」、「不特定多数の人が集まり接触する恐れが高い場所 (電車、ショッピングモール、スーパーマーケット、コンサート会場など)」は、集団感染の危険性があります。そのため、換気が悪く人が密に集まって過ごすような空間に集団で集まることを避けるよう、厚生労働省も推奨しています。

今回の新型コロナウイルスは、飛沫・接触感染が考えられるので、

- ① **マスクがあれば着用 (直接飛沫を浴びることを防ぐ、自分が鼻や口に触ることを防ぐ) する**

ウイルスは細菌などと比べると非常に小さく、一般的なマスクではウイルスそのものを防ぐことはできませんが、ウイルスを含んだ咳やくしゃみなどの飛沫を防ぐには有効です。

- ② **人の「手」が触れる場所を触ったら、手をよく洗う**

エレベーターのボタン、電車のつり革、ドアの取っ手、パソコンなどのほか、日常的に触れている「スマートフォン」にも注意しましょう。すぐに手が洗えないときに備えて、ウエットティッシュやアルコール消毒液 (手が濡れていると効果が薄いので乾いた状態で使用) を準備することも考えましょう。

もし体調不良になった場合には、学校、仕事を休むことも大切です。無理をせず、事前に問い合わせをしてから医療機関を受診し、感染の拡大防止に努めていきましょう。



### \* ウイルスと人との関わり

細菌は自力で繁殖する能力がありますが、ウイルスは自力で複製することができず、他の生物の細胞に感染、寄生することで子孫を残しています。ウイルスは長い歴史の中で環境に応じて進化をし、長い間住みついたそれぞれの動物とは共存関係になるため、その動物が発病することはありません。今回の新型コロナウイルスも、コウモリが共存してきたウイルスと推定されています。

その共存関係に、開発やレジャーの名のもとに部外者である人間が入り込むと、人間はこれまで経験することのなかった未知のウイルスと遭遇することになります。たまたまそのウイルスがヒトに感染する能力をもてば、免疫がないために大流行となることがあり得ると考えられています。

日本連盟医療チーム

\*1 PCR 検査: Polymerase Chain Reaction (ポリメラーゼ連鎖反応)。微量の検体を高感度で検出する手法のことで、顕微鏡で見ることのできない病原体の有無を調べる検査のこと。



# Scouting Never Stops.

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、2020年4月7日に「緊急事態宣言」が初めて出されました。

日本連盟では2月末より活動自粛を継続的にお願していますが、ボーイスカウトの活動が止まってしまったわけではありません。こんな時だからこそ、今、私たち一人ひとりにできることを考え、行動していきましょう。

日本連盟コミッショナーからスカウトの皆さんへのメッセージをお届けします。指導者の皆さん、ぜひスカウトにお伝えください。

次の週末、皆さんはどう過ごす予定ですか？ 東京は、「緊急事態宣言」を受け、街全体が普段の春とは全く異なる雰囲気に含まれることになりそうです。

活動自粛が始まってから、ひと月以上が経ちました。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大は止まらず、街の状況をみながらの自粛継続をお願いしたところです。私たちはみな、事態の沈静化に向けて協力していかなければなりません。

このような事態だからこそ、スカウティングの原点に立ち返りたいと思います。私たちの「活動」は、決して、集まらなければできないものばかりではありません。一人でも、自宅でも、できることはたくさんあります。

ビーバースカウトのみんな、ビーバーノートをひろげて、よんでみてください。そこには、おうちでできることがたくさんあります。おとうさん・おかあさん、かぞくといっしょに、はじめてみてください。

カブスカウトのみなさん、カブブックを読んでも、あたらしいことにチャレンジしてみよう。家の中でなければできないこともたくさんあります。取り組んだら、ほご者の方にサインしてもらい、それを次の隊集会で、隊長に見せてください。隊長はきっと喜ぶでしょう。

ボーイスカウトの諸君、新しくなったスカウトハンドブックを手に、これまで学んだ技能がきちんと身についているか、確認しましょう。また、班長はぜひ、班員の近況を確認してください。電話でも LINE でも、ほんの一言の声掛けが班の絆を深めます。

ベンチャースカウトの皆さんには、ぜひ次のプロジェクトへの考察を深めるほかに、「いまの社会に対して、私たちに何ができるのか」ということに、思いを巡らせてみてください。

ローバースカウトの皆さんなら、顔を合わせずとも SNS などですつながり合うのも容易

なことでしょう。ぜひ、「現在の社会に対して何ができるのか」、話し合ってみてください。

家でもできることや一人でもできることは、たくさんあります。集会のときだけではなく、私たちは、常にスカウトです。こんなときだからこそ、一人ひとりが「ちかい」と「おきて」を実践し、身近な「善行」を行うことで、あなたの家族の明日と社会の明日を守り、創ることにつながります。

まずは自ら率先して考え、行動する。さらには、家族など周囲の人を巻き込み、いまの社会をより良いものにしていく。それが、スカウトらしい姿なのではないでしょうか。

Scouting Never Stops.

いつの日も歩みを止めることなく、前へ進んでいきましょう。

日本連盟コミッショナー

福嶋 正己

## 活動についての考え方

新型コロナウイルスの感染拡大の状況は、時々刻々と変化しています。スカウト活動に限らず、学校や仕事、日々の生活にもその影響が大きく出ています。

日本連盟では、政府の発表に合わせて情報発信を行ってきましたが、当面の間、野外での活動の自粛（中止または延期）をお願いします。そして、自治体等の情報からお住まいの地域の感染状況等をよく把握し、今後の活動の取り組みや各種会議の開催を検討、実施するようにしてください。

その際に有効なのが、ICTツールを活用したオンライン会議です。Skype、Zoom、Google ハングアウト、Microsoft Teams、そして LINE や Facebook などのビデオ通話です。世界中ですでに活用され始めています。団や地区、県連盟で指定された方法があれば、それに従い活用してください。日本連盟では、各種ツールの活用方法についても今後発信していきます。

## #おうちスカウティング

今、世界各国のスカウトが、自宅でできるスカウト活動に取り組んでいます。日本連盟でも「おうちスカウティング」と題し、進級に関連するプロ

グラムやアクティビティを公開していく予定です。

普段と同じように活動ができない状態だからこそ、「おうち」でもできる活動として、それぞれの隊の取り組みや「日日の善行」など、日本だけでなく世界のスカウトたちが発信する SNS の投稿を、随時ご紹介していきます。

そのほか、日本連盟からの情報や海外のスカウト連盟の情報、そして国内の企業および団体が発信している情報などを、「今できること、すべきこと」として整理してお伝えします。

皆さんも、隊や団などの Facebook ページや Twitter、Instagram などで「# おうちスカウティング」をつけて、さまざまな取り組みを発信してください。

野外で元気に活動できる日まで、今自分にできることを考え、「おうちスカウティング」を合言葉に、進んでいきましょう。



<https://www.scout.or.jp/member/scoutingathome/>



# 第13回 日本アグーナリー

13th NIPPON AGOONOREE

We Can! ふかめよう友情! ひろげよう絆!

今夏、福島・国立磐梯青少年交流の家で開催を予定していた第13回日本アグーナリーは、多くの参加申し込みをいただき、各県連盟のご協力のもとで準備を進めておりましたが、現在、世界的に蔓延している新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、**開催を延期**いたします（開催時期は調整中です）。

日常生活地域で行うスカウト活動とは異なり、全国から多くのスカウトが一堂に会する大会であること、また、参加者自身の健康やスカウトを取り巻く環境など保健衛生に関する安全管理上の観点（特に障がいのあるスカウトも多く参加する本大会の特性）も考慮し検討した結果、スカウトの安心・安全を最優先し、大変残念ですが「開催延期」を決定いたしました。4年ぶりの本大会開催を楽しみに準備いただいていた方も多いと思いますが、安全な時期での開催を目指し調整してまいりますので、引き続き、今後の情報をお待ちください。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。なお、参加予納金については、参加を予定されていた方に全額返金いたします（返金方法等は後日ご案内いたします）。

## 延期事由

- (1) 政府から「緊急事態宣言」も出され、新型コロナウイルス感染が拡大している状況下で、今後の感染者の増大、発生地域の拡大の恐れや終息時期が予想できない。
- (2) 感染拡大が留まらない状況下、国内外から多くのスカウトが会場へ集散する大会の特性により、会場への移動および長期の宿泊を伴うことでの感染リスクが高まる。
- (3) 会場での衛生管理の徹底、感染者が出た場合の医療機関との連携など、万全な対策を講じて実施する必要があるが、現時点で治療薬やワクチンの対応ができない状況にあり、障がいのあるスカウトの安全管理が十分に行えない。

## COLUMN

### インクルーシブ教育とは？

13NA 実行委員 安藤 正紀

皆さんは、「インクルーシブ教育」という言葉をご存知ですか？

文部科学省は「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）」（平成24年）の中で、次のように述べています。

『「インクルーシブ教育システム」(inclusive education system: 包容する教育制度)とは、人間の多様性の尊重等の強化、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的の下、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組みであり、障害のある者が「general education system: 教育制度一般」から排除されないこと、自己の生活する地域において初等中等教育の機会が与えられること、個人に必要な「合理的配慮」が提供される等が必要とされ

ている』

『インクルーシブ教育システムにおいては、同じ場で共に学ぶことを追求するとともに、個別の教育的ニーズのある幼児児童生徒に対して、自立と社会参加を見据えて、その時点で教育的ニーズに最も的確に答える指導を提供できる、多様で柔軟な仕組みを整備することが重要である。小・中学校における通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校といった、連続性のある「多様な学びの場」を用意しておくことが必要である』

簡単にいうと、「障がいの有無にかかわらず、合理的な配慮のもとで共に教育を受ける」ということです。さらに、文部科学省の同資料には次のような記述もあります。

『「共生社会」とは、これまで必ずしも十分に社会参加できるような環境になかった障害者等が、積極的に参加・貢献していくことができる社会である。それは、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会である。このような社会を目指すことは、我

が国において最も積極的に取り組むべき重要な課題である』

世界スカウト機構の規約には、スカウト運動は、「性別、出生、人種、信条による区別なく、誰をも対象としたもの」とあり、日本連盟教育規程にも「参加の原則」として「本連盟の組織は、平等の原則に従い、すべての人に開放される」との決まりがあります。

いうまでもなく、スカウト運動はこれまでも配慮が必要なスカウトを排斥することなく活動してきました。むしろ、障がいのある人の本運動への参加を奨励し、その参加にあたっては可能な限り、個別の障がいの状況に応じて適切な活動が実施できるように必要な環境整備と支援を行うこととしています。

スカウト運動が果たす役割、期待されていることのひとつは「共生社会」の実現です。すべてのスカウトには個別のニーズがあり、個別の配慮が必要であることは当然のことです。今夏予定していた第13回日本アグーナリーは開催延期になりましたが、これからの社会に向けてインクルーシブな活動をぜひ一緒に考えていきましょう。



最新の情報は、日本連盟ホームページでご確認ください。

<https://www.scout.or.jp/member/13na/>

# 2020年度 全国大会

[テーマ]

## Creating a Better World (より良い世界を創ろう)

～ 活動的で自立した青少年を育てよう!! ～



**2020 (令和2) 年5月23日、24日に神奈川県横浜市で開催を予定しておりました今年度の全国大会は、新型コロナウイルス感染対策のため、残念ながら中止 (一部、オンライン配信) することになりました。**

全国の指導者が集まり、スカウト運動推進に向けた研修や取り組みの発表、情報を交換する機会を直接もつことができないのは残念ではありますが、理事長のメッセージ等の一部オンライン配信する予定です。引き続き、それぞれの地域でスカウト運動の活性化に取り組んでいきましょう。

ここで、開催に向けご尽力いただいた神奈川県連盟 (開催県連盟) が、県連盟創立70周年を記念して発行した『神奈川連盟運動史』をご紹介します (日本連盟スカウトライブラリーでご覧いただけます)。

※ スカウトライブラリーの開館情報は日本連盟ホームページでご確認ください。

1949 (昭和24) 年9月に創立したボーイスカウト神奈川連盟は、昨年、創立70周年を迎え、その記念に『神奈川連盟運動史 III』を編纂しました。過去、1982 (昭和57) 年に創立30周年記念史『神奈川発展史』、2001 (平成13) 年に50周年記念史『運動史』を発刊し、その続編として、以降20年間の神奈川連盟の活動をまとめております。

当初は本文600頁で計画していましたが、2年10か月にわたる編纂作業の中で、記録の充実を図り、最終的に本文775頁に及ぶ大作となりました。スカウト運動を支えてくださる多くの方々の支援で本史が発行できましたことを感謝いたします。

神奈川連盟創立70周年記念事業実行委員会  
記念史編纂部会長 根岸 進一



神奈川連盟創立70周年記念  
『神奈川連盟運動史 III  
2000~2019』

内容: ①20年のあゆみ ②表彰  
③スカウトの進歩制度 ④指導者養成 ⑤行事 ⑥海外派遣 ⑦各種資料 ⑧地区 (旧地区) 協議会・団紹介 ⑨組織 ⑩年表

▶ 2021 (令和3) 年度の全国大会は、**2021年5月29日 (土)、30日 (日) 静岡県熱海市** で開催します。

## 富士スカウト代表表敬

日本連盟では、毎年、各県連盟から選出された富士スカウト章受章スカウトが関係各所を表敬訪問しています。2019 (令和1) 年は、30県連盟145人が富士スカウト章を受章しました。

2019年度は、新たに環境大臣への表敬訪問の機会をいただき、代表スカウト6人が小泉進次郎環境大臣を表敬訪問。スカウトの実施プロジェクトや環境に対するボーイスカウトの取り組みについて報告を行ったほか、国内外の環境問題とそれに対する取り組みなどの意見を交換しました。最後に、大臣からスカウトに期待のお言葉をかけていただき、スカウトは環境に対して率先して行動していく決意を表明しました。



### 環境大臣表敬

日時 2月18日 (火)  
16:50 ~ 17:10  
場所 環境省大臣室  
参加者 代表スカウト  
6県連盟6人



なお、2019年度は赤坂東邸において初めて秋篠宮皇嗣殿下にご接見いただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、残念ながら訪問を辞退いたしました。また、首相官邸および文部科学省への訪問も同様に辞退しました。

※ 代替日程での開催等については、改めて各所と調整していきます。

## 小泉環境大臣から ボーイスカウトへの期待 (要約)

さまざまな物やエネルギーのリサイクルが課題となっており、特にプラスチックのリサイクルは、地球規模での課題です。回収したペットボトルを100%用いたリサイクルペットボトルの登場、レジ袋の有料化や削減、廃止の動きは今後も加速していくでしょう。

そんな中、マイボトルやマイバッグが当たり前、小さいうちから環境に対して優しい取り組みをしているボーイスカウトの皆さんに、自然エネルギーの応援団になってもらえたら、とても嬉しいです。ボーイスカウトとして、できることはたくさんあると思います。環境を考えることが当たり前の世の中になるような取り組みを、ぜひ進めてください。



■ 野外活動のための安心・安全講座

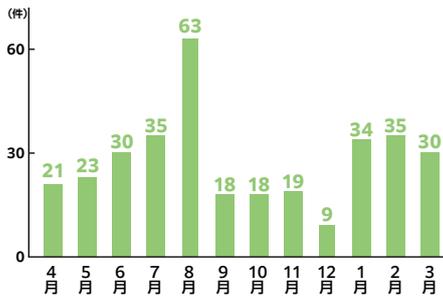
2018 (平成30) 年度

# そなえよつねに共済 事故データ分析

「そなえよつねに共済」で取り扱った事故データの分析結果をまとめましたので報告いたします。2012年度から全加盟員が保険（2014年度からは共済）対象となり、ボーイスカウト全体における事故の傾向が把握できるようになりました。事故発生件数（報告件数）は前年より9件少ない335件で傷病の延べ数は432件でした。いくつか気づいた点をコメントしましたので、安全管理の参考にしていただければ幸いです。

## 発生月別

■ 月別事故発生件数 (n=335)

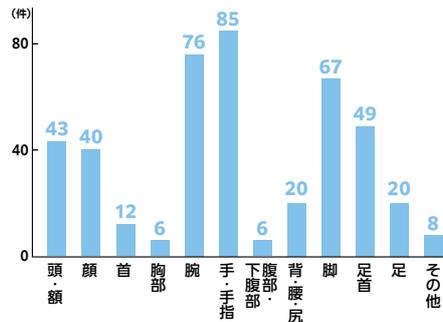


8月に事故発生件数が多い傾向は例年と同様です。全事故件数の18.8%を占めています。8月の事故を分析すると、63件中42件が夏季活動中（舎営や野営）に発生しています。このうちの11件は薪割り中の切り傷です。薪割りに関する事故は例年多く、皆さんも注意を払われていると思いますが、安全対策の重要性を改めて確認する必要があります。

12月の事故発生件数は少ないですが、これは例年みられるスキー、スノーボード、スケートの事故が見られなかったことによるものです。しかしながら、1月から3月はこれらの事故が増加し、例年同様の傾向が見られます。

## 部位別（延べ数）

■ 部位別事故発生件数 (n=432)



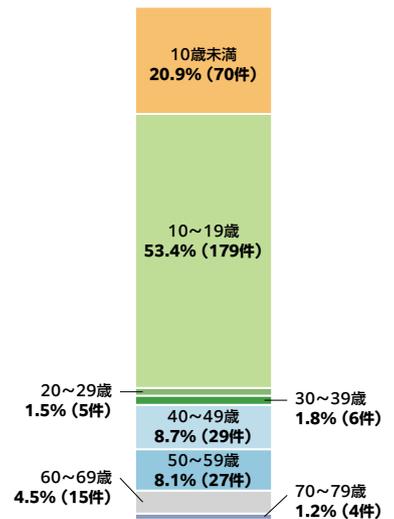
頭部（頭、額、顔）へのケガは、例年に比べて少なくなっています。しかしながら、腕、手、手指に対するケガが増えています。腕に関する傷病のうち、49%が骨折です。特にスキー、スノーボード、スケート中にケガをする割合が多いようです。骨折は治療に時間がかかるため、スカウト活動だけでなく日常生活に及ぼす影響が大きいため、より注意が必要です。

また手や手指の傷病は、薪割り中および調理中の切り傷で42%でした。薪割りや調理は事故の発生数が多いということを、今一度認識する必要があります。

## 年代別

年代別では、19歳までの割合が74.3%にあたる249人でした。20代5人、30代6人と少数ですが40代29人、50代27人、60代15人を占めました。70代でも4人の事故報告がありました。

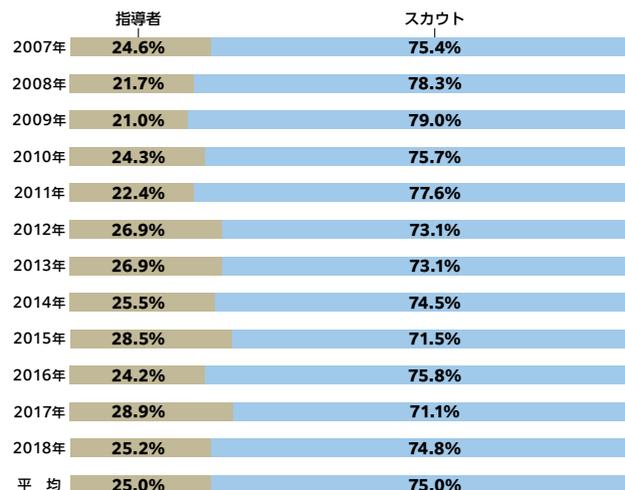
■ 年代別事故発生割合 (n=335)



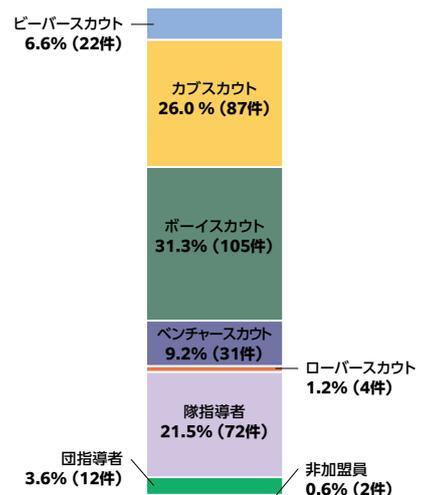
## 部門別

部門別の傾向は、ビーバースカウトが2.1%減少、カブスカウトが1.6%増加。全事故に占める割合（非加盟員を除く）のうち、スカウトは昨年より3.7%増加の74.8%になり、指導者は25.2%となりました。

■ 指導者/スカウトの事故発生割合の変化 (n=全体数-非加盟員)



■ 部門別 事故発生数と発生割合 (n=335)



## 部門別上位3傷病

	1位	2位	3位
ビーバースカウト	骨折 (10件)	裂けた傷 (4件)	打撲 (3件)
カブスカウト	骨折 (22件)	脱臼・捻挫・靭帯損傷 (19件)	裂けた傷 (13件)
ボーイスカウト	切り傷 (32件)	骨折 (22件)	擦り傷 (15件)
ベンチャースカウト	脱臼・捻挫・靭帯損傷 (13件)	切り傷 (9件)	打撲 (6件)
ローバースカウト	裂けた傷/切り傷/骨折/打撲 (各1件)		
指導者	骨折 (34件)	打撲 (14件)	切り傷/脱臼・捻挫・靭帯損傷 (各12件)

## 活動内容

ビーバースカウト部門での事故1位は「休憩中・自由時間等」で6件、2位は「準備・片付け」で3件でした。プログラム展開中の事故は9件ですから、「休憩中・自由時間等」「準備・片付け」での事故がいかに多いのかが分かるかと思えます。思いがけない場面で事故が発生しているということです。

カブスカウト部門での事故1位も「休憩中・自由時間等」の19件で、2位もビーバースカウト部門と同じ「準備・片付け」の9件でした。一方、ビーバースカウト部門とは違い、プログラム展開中の事故は41件でした。

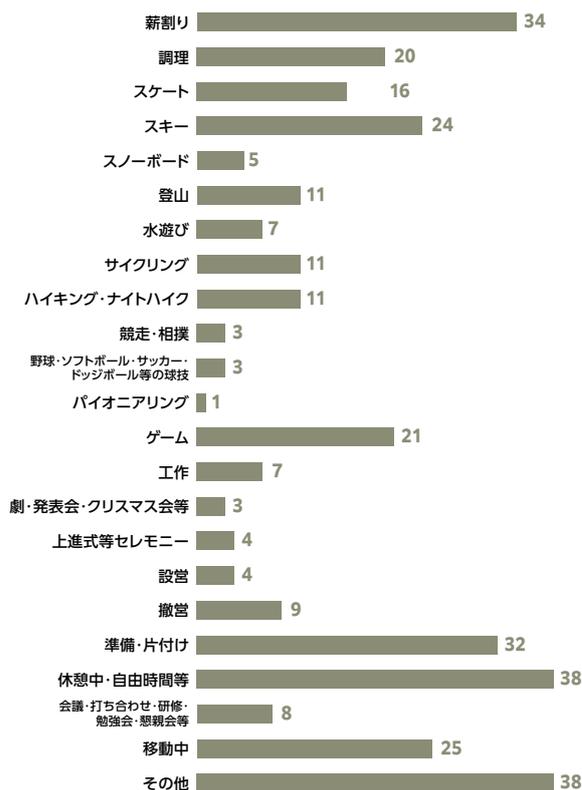
ボーイスカウト部門での事故1位は「薪割り」で22件でした。ナタによる切り傷がほとんどです。右利きのスカウトが多いこともあり、左手や左指の切り傷が多かったようです。第2位は「移動中」で11件でした。

ベンチャースカウト部門での事故1位もボーイスカウト部門同様の「薪割り」で9件でした。ベンチャースカウト部門においても、保護具の適切な使用など、安全について今一度確認が必要です。

ローバースカウト部門での事故1位は「薪割り」「スケート」「スノーボード」「水遊び」でそれぞれ1件です。

指導者の事故1位は「準備・片付け」で14件、第2位は「スケート」で8件でした。スケート中の事故は転倒によるものがほとんどで、骨折など重傷になる傷病が多く、中には長期間の入院を余儀なくされるケースもあります。

■ 活動内容と事故発生件数 (n=335)



■ 部門別 最も事故が多かった活動内容

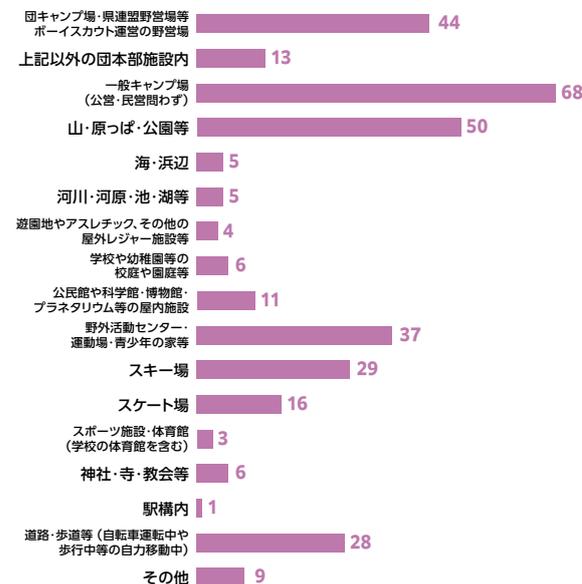
部門	プログラム
ビーバースカウト	休憩中・自由時間等 (6件)
カブスカウト	休憩中・自由時間等 (19件)
ボーイスカウト	薪割り (22件)
ベンチャースカウト	薪割り (9件)
ローバースカウト	薪割り/スケート/スノーボード/水遊び (各1件)
指導者	準備・片付け (14件)

## 発生場所

事故が最も多かった場所は「一般キャンプ場」で68件でした。次に「山・原っぱ・公園等」であり、これらの傾向から活発に屋外で活動していることがうかがえます。

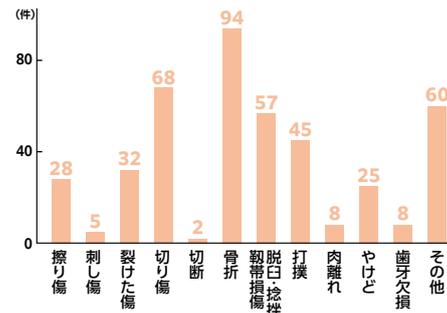
発生場所で気になることとしては「道路・歩道等(自転車運転中や歩行中等の自力移動中)」で、28件発生しているということです。

■ 発生場所と件数 (n=335)



## 傷病別(延べ数)

■ 傷病別事故発生件数と事故割合 (n=432)



傷病別では、「骨折」の割合が最も多く、昨年より21件減少ではありますが、94件で第1位でした。第2位は「切り傷」で昨年の59件から9件増加の68件でした。第3位の「脱臼・捻挫・靭帯損傷」は昨年の68件から11件減少の57件でした。これら3傷病で全傷病の50.7%と半数以上を占めています。

「骨折」や「脱臼・捻挫・靭帯損傷」は、昨年よりも減少しています。これらの傷病は事故直後の影響のみならず、完治までの治療期間が長期にわたるなど、日常生活にも影響が出てしまいます。減少傾向なのは大変良いことです。

また「やけど」の傷病数が割合としては増加しています。「やけど」の発生状況の多くは、食事(準備中、食事中、片付け)のタイミングで発生しています。これらの活動の際には、「やけど」のリスクを低減させるような安全対策や指導が必要です。

## まとめ

共済事業に移行して5年。全体的な傾向は変わっていませんでしたが、いくつか気になる点があります。

第一に、「薪割り」や「調理中」の手や手指への事故が多く、特にベンチャースカウト部門でも増加しているという点です。器具の取り扱いや保護具の装着を徹底することは当然です。また、これらを指導する際に、なぜ器具の取り扱い方を学ぶのか、なぜ保護具を着用するのか「その意味」をスカウトに伝えることが重要です。ただ教えるだけでなく、その意味や不適切な使い方をするとどのようなことが発生するのも含めて安全対策として指導してください。

第二に、「移動中」の事故が増加しているということです。特にボーイスカウト部門での移動中の事故が気になります。野営などからの帰宅時や移動中に事故が発生しています。車道などでの事故は、車両などとの接触が発生して大きな事故に発展することが予想されます。自転車などの「乗り方」に関する安全対策のみならず、スカウトの体調や天候、周囲の状況に十分配慮した安全対策が必要とされています。

最後に、「休憩中・自由時間」の事故です。ここ数年、発生件数が高止まりしています。ビーバースカウトやカブスカウトにとっては休憩時間イコール自由時間という認識です。指導者が予期しない行動をする可能性は十分にありまます。楽しいプログラムであっても、最後に事故が起きてしまつては本末転倒です。指導者は「休憩中・自由時間」であっても、スカウトから目を離すことがないよう、他の指導者や保護者の方々と協力し、安全で安心な活動を行う努力を怠らないようお願いいたします。

「セーフ・フロム・ハーム」安全委員会

# スカウティングとSDGs

— 一緒に考えよう！ 持続可能な社会のために —

持続可能な開発目標 (SDGs) は、「leave no one behind (地球上の誰一人として取り残さないこと)」を目指し、先進国と途上国が一丸となって達成すべき17の目標と具体的な取り組みである169のターゲットによって構成されています。

前号では、地球規模の課題に取り組む2つの団体を取り上げ、団や家庭で取り組める活動をご紹介します。今号では、17の目標の中から、スカウト活動と特に関連性の高い次の3つの目標「11. まちづくり」「14. 海の豊かさ」「15. 陸の豊かさ」について、国として求められていることから個人レベルでできることまで、一緒に考えていきましょう。また、前号に続き、ぜひスカウトに知ってほしい、先輩スカウトが取り組んでいる活動について、スカウトに向けたメッセージの形で紹介します。

## 個別の目標から考えよう

目標 11

### 「住み続けられるまちづくりを」



この目標では、世界中のすべての人が安全で住みやすい家、水や電気など必要なサービスを得られる街や地域社会で暮らせることを目指しています。また、女性や子ども、障がい者や高齢者などの弱い

立場の人にとっても安全で使いやすいこと、災害に強い場所にする、そして世界の文化遺産や自然遺産の保護、大気汚染や廃棄物の管理といった環境保護に関する内容も、この目標に含まれます。

活動で  
取り組んでみよう

BVS CS

安全で住みやすい地域にするために、防犯安全マップを作ってみましょう。自分たちで気がついた危険な場所やこうした方が良いという気づきを、地域の地図にポストイットなどでメモしてみましょう。また、地域の子どもたちと一緒に作ることで、自分たちの住む町について考えるきっかけにもなります。

防犯という観点だけでなく、知らなかった地域の魅力や地元の歴史、年代で異なる課題や新たな発見なども期待できます。

新チャレンジ章「セーフティエキスパート」では、地域の危険な場所のチェックとそれに対する安全対策を自分たちで考え実行する細目があります。作った防災安全マップは、自分の団で発表するだけにとどまらず、活動地域内の小学校や公民館、社会福祉施設で発表することで、地域の役に立つきっかけにもなるでしょう。



### ■ 関連するチャレンジ章に挑戦しよう



セーフティ  
エキスパート



案内



災害救助員

### ■ 関連する技能章に挑戦しよう



救急章



案内章



安全章



防災章

活動で  
取り組んでみよう

BS VS RS

近年は、地震や水害など大規模な災害に見舞われることが少なくありません。そのようなとき、自分の命は自分で守る、そして地域や職場で助け合う姿勢が大切です。技能章「防災章」には、防災グッズの作成や隊や団の防災訓練プログラムを企画する細目があります。災害時に、自分の身を守るだけでなく、地域の力になれる準備をしておきましょう。

日本防災士機構<sup>\*1</sup>による、社会のさまざまな場で防災力を高める活動をするための十分な意識と一定の知識、技能を修得したことを認証する「防災士」という資格があり、日本赤十字社の「赤十字救急法救急員」の資格を有することによる特例取得の制度があります。

災害に強いまちづくりも大切ですが、そのような心構えで日ごろから準備をしておくことが、自分の地域を大切にすることにもつながります。防災や減災のきっかけになる選択課目です。

※本誌 p20 に「防災士」関連記事

SCOUTS  
for SDGs

目標 14

「海の豊かさを守ろう」



海の汚染の多くは、人間の生活から発生したものが原因です。海の汚染を減らすには、陸上での生活習慣や活動を見直すことが必要です。

また、陸地は、森林や草原、砂漠などで形成され、地球の表面積の約30%を覆っています。この生態系を守り、再生し、持続可能な方法で利用するためには、森林を保護し、砂漠が今よりも増えないように対処していくことが大切です。

活動で取り組んでみよう

BVS CS 団活動

毎年、敬老の日（9月の第3月曜日）に、全国のスカウトや指導者が地域社会への奉仕活動をはじめとするさまざまな活動を一緒に展開する「スカウトの日」を実施しています。これは、加盟員一人ひとりが地域社会に貢献することを目的としており、さらにスカウト運動が地域社会に根ざした実践活動であることを広く社会にアピールする機会でもあります。

一斉活動で実施する内容を考えてみましょう。全国的には、地域の清掃活動をする団が多くあります。沿岸部や河川が活動エリアに含まれる団は、なぜ川や海が汚れてしまうのか、その理由まで探ることで「海の豊かさ」を守る活動につながります。また、山間部にある団であれば、なぜ森の木々を適切に間伐することが大切なのか、都市部の団であれば、なぜゴミの多い場所にはすぐにゴミが集まってしまうのか、その理由を探ることで「陸の豊かさ」を守るにつながります。

これらを考えたうえで、自分たちでできる取り組みを考え、家族や組、隊の仲間と一緒に実践する機会にしましょう。

今年のスカウトの日の活動資材は、SDGsの取り組みにつながるものを予定しています。団単位でお申し込みください。  
資材申し込み期間：6月1日（月）～6月30日（火）

目標 15

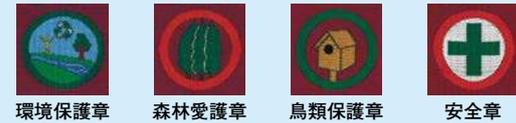
「陸の豊かさも守ろう」



■ 関連するチャレンジ章に挑戦しよう



■ 関連する技能章に挑戦しよう



活動で取り組んでみよう

CS BS VS RS

世界スカウト機構（WOSM）が取り組むプログラムのひとつである、世界スカウト環境プログラムに取り組んでみましょう。カブスカウト以上を対象とする世界スカウト環境バッジは、WOSM推奨の環境プログラムを5つ履修するか、該当するチャレンジ章や技能章の細目を履修した後、各団（または地区や県連盟）が計画し実施する環境プロジェクト、あるいは日本連盟が主催する環境に関するプロジェクトに参加することで取得できます。世界スカウト環境バッジは、隊長が取り組みを認証し団委員長に申請することで、団として交付することができます。

世界スカウト機構（WOSM）が取り組むプログラムのひとつである、世界スカウト環境プログラムに取り組んでみましょう。

■ 環境に関連するプロジェクトに挑戦しよう

たとえば、「スカウトの日」の中で地域に貢献できるプログラムを隊や団で考えてみましょう。

また、「国立公園カーボン・オフセットキャンペーン<sup>※2</sup>」に取り組むことも方法のひとつです。国内38か所の国立公園および周辺ビジターセンターを訪問し、スカウトが自然体験、環境学習、奉仕活動を通じて、自然に対して「自分ができること」に気づく機会を創出する環境プログラムです。この取り組みに参加することを、環境プロジェクトとして認定しています。

※1 日本防災士機構：防災士（「自助」「共助」「協働」を原則に、減災や防災力向上のために活動するための意識や専門的な知識や技能を修得した証である民間資格）の養成により、日本の防災と危機管理に貢献する団体です。日本連盟では、防災に特化した技能章「防災章」を2019年に新設しました。  
※2 国立公園カーボン・オフセットキャンペーン：さまざまな理由で発生する二酸化炭素を削減する取り組みを学び、豊かな自然にふれあいながら環境に負荷をかけないよう、自然と共生する社会の実現に向けた行動を喚起するためのキャンペーンです。団や地区、県連盟として申し込むことができます。

教えて！先輩

松田 樹生さん 神奈川・横浜第132団ローバースカウト／もったいない料理人

料理作りを通じて、世界中の「食品ロス削減」を呼び掛けています。

小学3年生のとき、朝ご飯を一人で作ったのが料理を始めたきっかけでした。友だちと釣りをしたり、新しい食材を見たり食べたりと、料理に関することは何でもやりました。その後、料理コンテストに出場し、自分より年下の参加者に負けてとても悔しかったことが、料理に対する原動力になりました。

キャンプでも班長や次長ではなく、料理長を任命されていました。

ひたすら料理をしていたボーイ隊。ジビエ料

理に触れる機会があり、生命を大切にいただくことを学びました。ベンチャー隊に上進してから「食」について調べるようになり、食材や食べ物を捨てずに使い切る「食品ロス削減」の考え方を知りました。

食品ロスがとにかく大嫌い。できるだけ無駄の出ない料理を目指しています。

18歳から働き始めた料亭では、日々廃棄される食材や食べ残しに対して、もやもやした思いがありました。働きながら食品ロス削減を課題に掲げた活動を始め、現在はフリーランスとしてこの活動に取り組んでいます。そして、この課題に

取り組む団体と一緒に期間限定の「フードロスレストラン」を出店したり、食品ロス削減をテーマにした弁当を販売したりと、今自分ができる活動をしています。

食品ロス削減という課題について、まずは興味をもってください。

「スカウトは質素である」。このおきてが示すように、隊活動で生き物の命や食材を大切にしているか、これまでの活動を改めて見直してみてください。食材の調理方法や産地などに興味を持ち、知識をつけてください。その新たな知識が、皆さんの行動を変えてくれるはずです。



第47回

全国ボーイスカウト写真コンテスト

# 入賞作品 発表!!



📷：撮影者のコメント    ②：審査委員長のコメント

※撮影者の所属等は応募時(2020年2月時点)のもので、  
※タイトル、撮影者コメントは応募時の表記のまま掲載しています。  
※プライバシー保護のため、一部を加工しています。

少年の部(中学生以下) 【応募総数 186点】



## 『ボーイスカウト大好き』

前田 悠貴 群馬・館林第1団 カブスカウト

📷 ぼくたちがいつも活動している茂林寺は、秋になるとイチヨウの葉が落ちてとてもきれいです。皆さん、ぜひ遊びに来てください。

② スカウトたちが、紅葉しているイチヨウのじゅうたんの中で、自然を楽しんでいる光景を1枚の写真に収めています。なかなか画面構成的にもすてきな写真です。元気一杯に自然を満喫しているスカウトの表情が表れているのがとても印象的です。



『さんかくぶじさん』



『みんなで昔にタイムスリップ!』



『ぼきん活動』

入選 七星 北斗  
千葉・千葉第6団  
カブスカウト

入選 藤田 寧々  
京都・京都第55団  
カブスカウト

入選 佐野 珠梨  
岐阜・各務原第1団  
カブスカウト



『火おこし体験』

入選 石橋 和樹  
秋田・秋田第31団  
カブスカウト



『けいれい!』

入選 鬼頭 良治  
千葉・柏第10団  
カブスカウト



『疲れたあとは、ミカンだね』

入選 長谷川 暖  
東京・八王子第7団  
カブスカウト



『木の中からひょっこり犯』

入選 塚本 幸喜  
京都・京都第55団  
カブスカウト

# Canon

今年の写真コンテストも、引き続きキヤノン株式会社にご提供いただきました。

「少年の部」「青年・成人の部」それぞれの最優秀者にお贈りいたします。ぜひ、今後の活動の中でもカメラに親しみ、魅力あふれる瞬間を写真に収めていきましょう。



少年の部  
コンパクトデジタルカメラ  
PowerShot  
SX430 IS



青年・成人の部  
ミラーレスカメラ  
EOS M200  
EF-M15-45 IS  
STM レンズキット



📷 ハイキングの途中、問題を解きながら進むゲームを楽しんでいるカブたちの表情をデンコーチをしているボーイ隊の僕が撮影しました。

② とてもいい表情をした3人のスカウトが写しこまれています。画面構成がすばらしく、作者の狙った意図がちゃんと写真に写し出されています。それぞれの考えていることが目の表情に表れて、三者三様で素敵な作品になっています。



## 『ハイ! わかりました』

柴垣 英大  
兵庫・姫路第6団 ボーイスカウト



## 『できたよ、へび結び』

石田 楓夏 宮城・名取第1団 カブスカウト

📷 くまスカウトで、ロープ訓練をしているところを撮りました。持っているロープが「へび」に見えたので、このタイトルにしました。

② ロープをカメラの手前にもってきて、皆さんが訓練をしている表情を全体に入れて撮ったところがなかなかすばらしい。手前の両側にいるスカウトの結び(手元)がきちんと見えているのが、画面構成的にもなかなか考えた作品になっています。

青年・成人の部 (高校生以上) 【応募総数 208 点】



『もっと食べたい』

市川 みどり 埼玉・入間第2回 ビーバー隊隊長

📷 野外でお好み焼きを作って食べました。よほどおいしかったようで、食べながら「もっと食べたい」と言っていました。

🗣️ いかにもおいしそうに食べている表情がなんともうれしそうで、食べる楽しさがみなぎっています。そこに集中して撮ったのが成功のもとです。人物のまわりが暗くなっているのが、表情をより一層引き立たせています。



『とびっきりの笑顔!』

安井 憲郎 神奈川・川崎第43回 カブ隊副隊長

📷 私のハットを奪った直後の、ちょっと意地悪な笑顔をパシャッ!!

🗣️ 隊長のハットをとって、自分たちでかぶる茶目っ気のある表情がとてもよい。愛想笑いじゃない、本当に楽しんで笑っている表情がなんともすばらしいです。後ろにある建物の造形がそこにうまくフィットして、一つの画面構成になっています。そこまで気をまわして撮ったとしたら、すばらしい画面構成の仕方です。



『キャンプファイアのエンディング』

伊藤 茂 大阪・大阪第71回 団委員長

📷 楽しいファイアも終盤になり、静粛に夜話を聞いている場面です。影が幻想的です。

🗣️ キャンプファイアの火を囲んで、キャンプの終わりを楽しんでいる光景がよく出ています。中央のファイアの光の影が放射状になっていて、なんとも幻想的な光景を見せています。なかなかドラマチックな撮り方です。



『とびだせ! 月の輪たち』



『分かるって楽しい!!』

入選 齋藤 剛  
埼玉・川口第19回  
カブ隊副隊長

入選 姫嶋 真基子  
山梨・甲府第6回  
保護者



『泥遊びじゃないよ』



『やったー! 釣れたぞー!』

入選 北川 勝久  
富山・南砺第3回  
ベンチャー隊隊長

入選 坂本 聖弥  
岐阜・岐阜第17回  
ローバースカウト



『各隊の誇り』

入選 富澤 昇太  
兵庫・西宮第21回  
ローバースカウト



『なかよしの輪』

入選 岩村 順子  
大阪・大阪第71回  
カブ隊副隊長



『スカウトペース』

入選 渡邊 真弥子  
山口・柳井第3回  
カブ隊副隊長

総評 / どうしても被写体の説明をしたくなるのが普通ですが、説明的な写真になってしまうと写真がとてつもらなくなってしまいます。子どもたちがどっぷり楽しんでいる光景を撮ると、写真により生き生きとした雰囲気が入り込めます。そうするとすばらしい写真が生まれます。

スカウトたちが全身で楽しむ姿でいられるよう、撮影時に工夫することが、よりす

ばらしい写真を撮る方法だと思えます。要するに、撮っている人自身が撮影を楽しんでいるだけではダメで、写る人が楽しんでいるところを撮らないといけない。相手が楽しくゲームをしたりしている自然な姿を撮るためにはどうしたら良いかということ、撮影をしながら考えて、その一番すばらしいところをシャッターで収めることを心がけてほしいです。



審査委員長  
田沼 武能氏

たぬまたけよし / 東京写真工専卒業後、木村伊兵衛氏のもとで修業、その後フリーに。高度成長期以前の東京下町の暮らしなどを撮影する。活躍の舞台を世界にひろげ、各国の子どもの写真を撮り続けている。1995年より2015年まで日本写真家協会会長。紫綬褒章など多数受賞し、2019年には写真家として初めて文化勲章を受章した。少年時代、現在の台東第1回(東京第2隊)の前身である大谷健児団でボーイスカウト活動に参加。

## 兵庫 □ 当団のカブスカウトが「子ども防災士」として新聞で紹介されました

神戸第54団 カブスカウト隊長 幸田 淳

神戸第54団の拠点である神戸市東灘区は、25年前に発生した阪神淡路大震災で、甚大な被害を受けました。

当団では、団関係者の中にも亡くなられた方や被災した方がいること、過酷な避難所の環境改善に当時のスカウトたちが活躍したこと、そして地域の信頼を得て震災追悼行事の運営を引き継いでいることなどを、現在所属しているスカウトに繰り返し伝えていきます。

震災を伝える団の取り組みをきっかけに、自分が生まれる以前に発生した阪神淡路大震災について学んだ当団のカブスカウトが「防災士」の資格を取得し、「子ども防災士」として震災に関することや防災の大切さを、ボーイスカウトの仲間や地域の子どもたちに伝えていきます。その活躍ぶりを神戸新聞でも紹介していただきました。

神戸新聞 (2020.1.9)

ボーイスカウトの仲間たちに防災の大切さを説明する防災士の酒井牡丹さん(右)＝神戸市東灘区



イベントで心臓マッサージを体験する子どもたち  
昨年5月、三田市

## 9〜19歳の資格者1552人、10年で20倍

阪神・淡路大震災を機に、2003年に創設された民間資格「防災士」。防災の知識や技能を持つ人材の養成が目的で、当初は行政職員や自主防災組織のメンバーが資格を取るケースが多かったが、近年、資格試験に合格する子どもや若者が増えている。震災から25年が経過し、各地域の自主防災組織の担い手が高齢化する中、次代の防災リーダーとして期待される。(佐藤健介)

防災士は、NPO法人日本防災士機構(東京)が制度。資格取得に年齢制限はないが、同機構が認定した機関による研修講座を受講し、資格取得試験の合格後、資格取得試験の合格自治体や消防署などから救急救命講習への参加が必要となる。昨年12月末現在、全国で累計16万5468人が登録されている。同機構によると、9〜19歳の資格取得者は08年度は83人(単年度)だったが、18年度は1552人(同)と、10年間で20倍近くに増えた。

## 神戸の小4 備えの大切さ 同年代に

酒井さんは3年生だった18年秋から、興の「ひまわり」防災リーダー講座に参加。専門家の講話や倒壊家屋での救助体験、救命講習などの約半年間のプログラムに臨んだ。子どもには難しい内容だったが、教材を読んだり、図上の避難訓練や救命救命などを学んだ。学んだ内容は、高年齢や病弱者への誘導する意見を。同市東灘区は阪神・淡路で甚大な被害を受けた。地元の本山第一小学校では、児童3人が犠牲に。避難所となった校舎に約2千人が身を寄せ、ボーイスカウトもトイレ掃除などを担った。酒井さんは画用紙の絵図を示しながら「共助は『お互いに助け合う』という意識。『子どもへの心臓マッサージは、力が強すぎる大人より、子どもがしたほうが良い場合もある』などと伝えた。

酒井さんは3年生だった18年秋から、興の「ひまわり」防災リーダー講座に参加。専門家の講話や倒壊家屋での救助体験、救命講習などの約半年間のプログラムに臨んだ。子どもには難しい内容だったが、教材を読んだり、図上の避難訓練や救命救命などを学んだ。学んだ内容は、高年齢や病弱者への誘導する意見を。同市東灘区は阪神・淡路で甚大な被害を受けた。地元の本山第一小学校では、児童3人が犠牲に。避難所となった校舎に約2千人が身を寄せ、ボーイスカウトもトイレ掃除などを担った。酒井さんは画用紙の絵図を示しながら「共助は『お互いに助け合う』という意識。『子どもへの心臓マッサージは、力が強すぎる大人より、子どもがしたほうが良い場合もある』などと伝えた。

# 防災士育つ次代のリーダー



## ローカルホットライン

# Local Hot Line

- …… 団
- ⊠ …… 地区
- …… 都道府県連盟
- ◇ …… その他

団・地区・都道府県連盟だより



## 東京 □ 発団50周年記念事業挙行

八王子第5団 団委員長 大神田 久

八王子第5団は、2019年に発団50周年を迎え、記念事業として記念キャンポリーと記念式典を挙行了しました。

昨年8月に実施した記念キャンポリーでは、山梨県アオグラの森キャンプ場で約80人のスカウト、指導者、団委員長が一堂に会し、50年を祝うとともに更なる発展を誓い合いました。また、10月には記念式典を挙行し、萩生田文部科学大臣をはじめ、都議会議員や地元市議会議員、大本山高尾山薬王院の皆さまを来賓にお迎えし、これまでお世話になったOBの方や地区役員の方など多くの方々にお祝いしていただきました。懐かしいOBとの懇談もできて楽しい時間を過ごすことができました。

記念事業は、スカウト、指導者、育成会が協力して一年以上前から準備を進め、いずれも成功裏に終えることができました。

## 信仰奨励

スローガン  
「日日の善行」

信仰奨励委員会 八巻 知子

今号では、「日日の善行」について考えてみたいと思います。

指導者の皆さんは、スカウトのスローガンである「日日の善行」について、どのようにスカウトたちに話し、実践に導いているのでしょうか？

日常生活の中で起こる身の周りの出来事に目を向けたとき、人から受けた親切や恩に対して、自分にできる何かしらの善いことを毎日見つけて行く、ということも「日日の善行」では大切です。

おきてのひとつに「スカウトは親切である—スカウトは、すべての人の力になります。幼いもの、お年寄り、体の不自由な人をいたわり、動植物にもやさしくします」とあります。また、ビーバー部門では「きまり」の中に「ビーバースカウトはよいことをします」、カブ部門ではさだめのひとつに「カブスカウトはすすんでよいことをします」と定められています。

「善いことってどんなこと？」をテーマに、ゲーム形式でスカウトたちと考えたり、組集会や班集会の宿題にして隊活動や家庭でできるプログラムにしてみたりするのもよいでしょう。そして、実践できたら必ず誉めてあげること。はじめのうちは意識して善いことを行なったとしても、それが習慣となり次第に意識しないで自然に善いことができるようになる、そのようにスカウトたちの人格が豊かに形成されることで、他の人や社会に役立つ人材へと成長していくのではないのでしょうか。

私の信じる信仰の教えの一節に『人を幸福にしなければ、自分は幸福になり得ない。善事を多くした人ほど幸福者になるのである。簡単にいえば、できるだけ善事を行い、時間さえあればいつでもなにか善いことをしようと心がけるのである』とあります。B-Pも同様のことをいわれています。私たち指導者自らが善いことを考え善い言葉を使い、善い行いを心がけていくことで、必ずやスカウト一人ひとりにより影響を与えることができ、自ら「日日の善行」を実践できるスカウトがたくさん増えるということを信じます。



## ボーイスカウト PRムービーコンテスト2020



募集期間：7月1日[水]～10月31日[土]

テーマ：5月中に日本連盟ホームページにて発表!!

### 【コンテスト詳細】

#### ■ スケジュール

募集期間：7月1日(水)～10月31日(土)  
 選考期間：11月中  
 結果発表：2021年1月上旬(予定)  
 ※ 審査結果は本誌2021年1月号および日本連盟HPにて発表する予定です。

#### ■ 応募資格

本コンテストへの応募資格は、以下のとおりとします。

- ボーイスカウト運動の目的に賛同する者(加盟員である必要はありません)。
- 本コンテストの要項に同意している者。
- Youtubeへの動画投稿が可能なアカウントを所有している者(本コンテストのために新規獲得したアカウントでも可)。

※ 応募者が未成年の場合、保護者または指導者の同意が必要です。必ず事前に同意を得たうえで応募ください。

#### ■ 作品の条件

- ① ボーイスカウトのPRになる内容であること
- ② 10秒以上90秒以内であること
- ③ 他者の著作権、肖像権等を侵害していないこと
- ④ 未発表の作品であること

#### ■ 賞品

最優秀および優秀に選ばれた作品の応募者には、協賛企業よりご提供いただく賞品をお贈りいたします。

#### ■ 過去の優秀作品

日本連盟 Youtube で公開しています。

どなたでも簡単に撮影や編集ができる時代です。ぜひスカウト活動の楽しさを動画に収めてご応募ください。詳細は、日本連盟ホームページをご覧ください。

URL: <https://www.scout.or.jp/member/prmc2020/>





# セーフ・フロム・ハーム

昨2019年に、ビーバースカウトとカブスカウトを主な対象としたカード式の啓発資料『思いやりの心ってなあに』を作成し、全国の子で活用していただけるように配付しました。

今回、ボーイスカウトおよびベンチャースカウトを対象にした教材【漫画「セーフ・フロム・ハームってどんな意味?」、「多面体サイコロで遊ぼう!」】を作成しました。多面体サイコロは、楽しみながらスカウト自身の意見や感想を引き出し、発表する力を養い、仲間の意見を聞いたり共感したりすることなどを体験できるよう、取り組みやすいゲーム形態にしました。この教材は、コミュニケーションをとりながら遊び進めていくうちに、相手の気持ちを感じ取る練習になり、思いやりの心を育むことに繋がっていくことをねらいにしています。

日本連盟ホームページにて資料(教材)を公開しており、ダウンロードして使用することができます。また、今回作成した教材は、各団に2部ずつ行きわたるように各都道府県連盟事務局にお送りする予定です。県連盟(あるいは地区)から配付されましたら、ぜひご活用ください。

※各都道府県連盟事務局への発送は4月中を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響により、5月以降の発送とさせていただきます。

最後に、指導者の皆さんには加盟登録時にeラーニングを受講していただいておりますが、活動中も「セーフ・フロム・ハーム」を意識して活動に取り組んでいただきますよう、改めてお願いいたします。



漫画「セーフ・フロム・ハームってどんな意味?」



「多面体サイコロで遊ぼう!」

日本連盟 セーフ・フロム・ハーム サイト <https://www.scout.or.jp/sfh/>

## 維持会員 (敬称略)

スカウト運動を財政面からご支援いただいている個人・法人会員の方々です。

### ご支援ありがとうございます 2020年1~2月度

<p><b>【北海道】</b> 経森 等 渡邊 伸夫 佐藤 満雄 BS北見2 BS札幌26</p> <p><b>【青森】</b> 佐藤 正 尾形 善且 BS盛岡5 BS水沢3 BS岩手連盟</p> <p><b>【秋田】</b> 川尻 孝紀</p> <p><b>【茨城】</b> 八木 雄二</p> <p><b>【群馬】</b> 夏目 正</p> <p><b>【埼玉】</b> 牛山 佳久</p> <p><b>【千葉】</b> 根本 孝英 織田 一雄 花田 健二 伊藤 知 太田 匠 鈴木 亮仁 小鷹 順一 森 真紀 中川 和久 鈴木 町枝 ユアサモビリティサービス(株)</p>	<p><b>【神奈川】</b> 高野 新平 寺口 伸夫 中島 一郎 小澤 寛樹 小山 貴司 大久保 哲雄 葛西 映子 黒岩 達夫 BS横浜11 湘南地区 しらほ倶楽部</p> <p><b>【山梨】</b> 中村 忍</p> <p><b>【東京】</b> 山下 孝士 五十畑 康則 渋谷 達雄 真山 明夫 野村 和男 邦男 生夫 入江 生夫 松本 康夫 望月 洋一 浅野 正 荒川 善彦 浅野 麻利子 佐原 和幸 野原 弘明 安廣 正義 吉野 博明 木村 高弘 横溝 宏明 柿沼 保則</p>	<p>山口 雅生 奥村 綱大 小澤 有明 藤村 満 三谷 克己 長谷川 節子 畠山 真樹子 佐々木 憲一 柴田 康晴 近藤 剛民 小田 通精 BS墨田4 BS板橋2 BS三鷹1 BS渋谷9 BS江東3 BS江東6 BS台東2 BS台東4 BS小金井1 BS小金井2 BS柏江3 BS調布9 BS調布10 BS三鷹3 BSさくら地区 BSあすなろ地区 東洋大学ローパー スカウト部OB-OG会 (株)立川印刷所 町田タイムズ社 渋谷商工(有)</p> <p><b>【新潟】</b> 渡辺 誠</p>	<p>坂上 洋司 今井 浩二 新潟信用金庫</p> <p><b>【富山】</b> 安居 堯雄</p> <p><b>【石川】</b> 吉田 義明 内田 宏 飯田 一郎 東本 晃一</p> <p><b>【福井】</b> 勝倉 彰三 前川 俊弘 矢崎 正幸</p> <p><b>【岐阜】</b> 三浦 英夫 田中 忠彦 渡辺 芳弘</p> <p><b>【静岡】</b> 川村 悦子 小長井 由雄 速藤 哲史 大沼 博政 濱田 敏彦 田中 寛 渡辺 聡 山本 真一 志賀 裕人</p> <p><b>【愛知】</b> 深津 一明 鬼頭 輝久 折戸 定武 足立 康昭 加納 清夫 澤田 利夫 森川 邦政 佐藤 益美</p>	<p>五島 道夫 内藤 吉実 藤牧 岩田 古谷 仁彦 柴田 吉彦 五藤 文二 BS大府3 BS半田6 BS半田4育成会 新東工業(株) (株)花井組</p> <p><b>【三重】</b> 川北 佳伸 森 尚美 川北 博文 BS鈴鹿11育成会 サンモーター(株)</p> <p><b>【滋賀】</b> 信 治 岡村 誠子 岡村 誠 木村 誠 船田 勉 矢島 孝</p> <p><b>【京都】</b> 林 俊次</p> <p><b>【兵庫】</b> 南 秀生 長島 求 匂 博美 丸尾 洋一 藤田 智之</p> <p><b>【奈良】</b> 西村 逸子 西村 泰紀 藪岡 克美 鹿野 修</p>	<p>(有)永井 永井憲一 <b>【和歌山】</b> 楠本 章郎 田中英慈 森本 英明 平井 孝朗</p> <p><b>【大阪】</b> 大坂 紀成 松本 修造 高見 篤志郎 膳師 功 笠松 養三 村木 千恵 大阪スカウトクラブ</p> <p><b>【鳥取】</b> 森脇 昇</p> <p><b>【岡山】</b> 山田 貞秀 BS西大寺1育成会</p> <p><b>【広島】</b> 福島 達暁 吉川 尚子 工田 隆 山下 満芳</p> <p><b>【山口】</b> 池田 信幸 和田 昭宏</p> <p><b>【徳島】</b> 池田 勝美</p> <p><b>【香川】</b> 宮野 義久 今岡 扶彰 辰野 影一</p> <p><b>【愛媛】</b> 村山 正 井村 眞一 小林 司 比地原 草平 深見 泰子 肥沼 裕史</p>	<p>平川 正道 松尾 博史 BS福岡33 BS福岡23 BS速賀3 BS久留米10</p> <p><b>【長崎】</b> 菊池 文高</p>	<p><b>【宮崎】</b> 村永 盛哉</p> <p><b>【沖縄】</b> 西銘 恒三郎</p> <p><b>【日本】</b> 程 近智 守口 隆雄 竹内 康人</p>	<p>白井 堯歌 松田 美重 杉本 忠重 宮崎 正夫 幸田 学 Chubb損害保険(株) (有)TOTAL WALL MAKE</p>
---	---	--	---	---	--	---	--	---

**マンスリーサポート維持会員**  
毎月1,000円から、クレジットカードでの自動引き落としによる維持会費のお支払いが可能です。  
<https://www.scout.or.jp/support/04/>  
1~2月に入会または1年継続された方々です。

<p><b>【北海道】</b> 前谷 慎太郎</p> <p><b>【宮城】</b> 松岡 大介</p> <p><b>【埼玉】</b> 脇田 大輔 時計 一利</p> <p><b>【山梨】</b> 藤森 静男</p> <p><b>【東京】</b> 村山 正 井村 眞一 小林 司 比地原 草平 深見 泰子 肥沼 裕史</p>	<p><b>【富山】</b> 畠山 遵</p> <p><b>【静岡】</b> 川村 悦子</p> <p><b>【滋賀】</b> 嶋田 寛</p> <p><b>【京都】</b> 谷口 平八朗</p> <p><b>【兵庫】</b> 武藤 伸太</p> <p><b>【奈良】</b> 村田 禎章 龍本 高志</p> <p><b>【山口】</b> 岡寺 信政</p>	<p><b>【福岡】</b> 永尾 眞介 武井 靖樹 荒木 秀樹</p> <p><b>【大分】</b> 戸高 有基</p> <p><b>【日本】</b> 大浦 秀樹 磯山 友幸 宇都田 宙平 宇場 康美 清水 美保 脇本 雄吾</p>
---	---	---

## 令和元年台風第19号への支援状況報告

2019年10月に発生した「令和元年台風第19号」へご支援いただき、ありがとうございました。全国各地より寄せられた各種募金について報告いたします。

※2月1日以降に日本連盟に届いた募金活動報告(日本赤十字社等への直送分を含む)について掲載しています。金額はこれまでの総額です。なお、日本連盟では、3月20日をもって各募金の受け付けを終了しました。今後は、日本赤十字社等へ直接ご送金くださいますよう、お願いいたします。

※隊名や個人名等の報告でも、団名の記載があった場合には団名で紹介していますので、ご了承ください(敬称略、順不同)。

■日本赤十字社等を通じて被災者に直接送られる義援金  
総額 **¥5,664,583**

【栃木】今市2 【埼玉】越谷5、越谷8 【神奈川】横浜96 【石川】津幡1 【静岡】浜松12 【三重】桑名3 【奈良】生駒5 【大阪】箕面2 【香川】観音寺5 【福岡】那珂川1 【熊本】長洲1 【沖縄】石垣1

■スカウト関係者からスカウト関係者に対する見舞金  
総額 **¥1,293,301**

【埼玉】越谷5、越谷8 【石川】小松3 【京都】京都50

■ボーイスカウトによる支援活動をサポートするための災害活動支援金  
総額 **¥147,948**

【兵庫】洲本1

令和元年台風第19号への募金総額  
**¥7,105,832**

### お知らせ



「スカウトスキル連載」「伊東孝志氏のエッセー」「日連情報」は、前号(2020年3月号)をもって、掲載終了とさせていただきます。ご愛読いただき、ありがとうございました。

今後も、さまざまな内容をお届けします。ご意見感想等ございましたら、「なんでも投稿先(scouting@scout.or.jp)」までお寄せください。

スカウティング編集部



2020  
No.738

7

SCOUTING

次号予告 次号の『スカウティング』は、2020年7月1日発行

特集

## 日本連盟新体制

日本連盟創立100周年まで、あと2年。日本連盟は、これまで取り組んできたことを土台に、新たな体制で歩みを進めてまいります。

次号では、100周年へのラストスパートに向け、5月に就任する新理事長のメッセージをお届けいたします。

なんでも投稿先

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟事務局「スカウティング」投稿係  
〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3  
電話 03-6913-6262 (代表) FAX 03-6913-6263 Eメール scouting@scout.or.jp

**投稿規定** / 本誌では読者の皆さまからの投稿を常時受け付けています。投稿が掲載された方には、掲載誌と記念品をお送りしています。投稿は、文字数400字で写真3枚を目安にしてください。新聞掲載記事は、新聞名、掲載日を明記してください。なお、お送りいただいた写真や新聞記事は原則として返却しませんのでご了承ください。お送りいただいた投稿は、抜粋しての使用や一部を編集させていただく場合があり、また掲載できない場合もあります。あらかじめご了承ください。たくさんの方の投稿をお待ちしております。

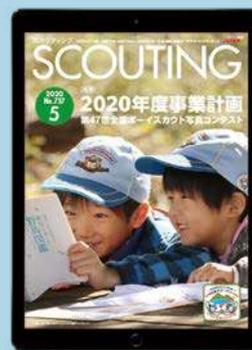
日本連盟ホームページ <https://www.scout.or.jp>

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

「スカウティング」2020年5月号 No.737 令和2年5月1日発行(奇数月1日発行)  
発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3 <https://www.scout.or.jp>  
「スカウティング」は、全国のボーイスカウト指導者(隊指導者、団委員、スカウトクラブ構成員、地区・県連盟・日本連盟役員)に1冊お送りしています。加盟登録住所にお送りしますので、住所の誤り、変更がある場合は団での登録住所変更の手続きをお願いします。登録システムに伴い、①4月~8月に新規、追加登録申請が承認された場合:5月号から当該月号を同封にて送付(例:8月承認の場合は9月号に5月号、7月号を同封) ②9月~翌年3月に登録申請が承認された場合:11月号から当該月号を同封にて送付。9月以降の「追加登録」で、5月号~9月号をご希望の場合は、日本連盟事務局社会連携・広報部にご相談ください。バックナンバーの在庫がある場合は有償でお送りいたします。発行月の前月10日以降は、送付作業工程に間に合わないため、当該月号は次号に同封されます。なお本誌の購読料は、登録料に含まれています。上記以外の方も別途購読いただくことが可能です。詳しくはボーイスカウト日本連盟ホームページ <https://www.scout.or.jp> から、スカウティング誌のページをご覧ください。  
©公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 2020 写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟事務局社会連携・広報部(代表 TEL:03-6913-6262)までご連絡ください。

# SCOUTING

## デジタル配信しています!



機関誌「スカウティング」のデジタル版(PDF)を、読者の皆さんを対象に配信しています。

デジタル版は、文字もそのままコピーできますので、さまざまな資料に、より簡単に引用できるほか、タブレット端末などに入れ、いつでも読むことができます。

ぜひご利用ください。

通常はIDとPASSを入力していただいておりますが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う活動自粛中の臨時措置としてパスワードを解除します。ぜひスカウトや保護者の皆さまにもご案内ください。活動自粛中の自宅におけるスカウト活動などにお役立ていただければ幸いです。



ID: scouting-magazine

PASS: sonaeyotuneni

URL: <https://www.scout.or.jp/scoutingmagazine/issue/>



**ゴゴカレー** 公式通販  
<https://jp.gogocurry.com>



5月5日は  
**ゴゴカレー**  
**バースデー**

ゴゴカレーは今年で16歳。スカウトのみんなと同年代！  
 昔も今もすべてはおお客様の元気のために。

私たちは、自然のなかで元気に活動する  
 ボーイスカウトを応援しています。



元気の源  
**ゴゴカレー**

株式会社 ゴゴカレーグループ 〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル3階 [www.gogocurry.com](http://www.gogocurry.com)

SCOUTING 2020/5 **737**

**スカウトイング**  
 昭和33年12月15日 第3種郵便物認可  
 令和2年5月1日発行（奇数月1日発行）

発行 公益財団法人ボーンスカウト日本連盟  
 〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3  
 電話 03 (6913) 6262 (代)

定価 200 (税込)  
 郵便振替 00130-1-66119  
 口座名義 公益財団法人ボーンスカウト日本連盟

